

令和3年度「下保谷四丁目特別緑地保全地区 秋の一般開放」イベント実施報告

このことについて、下記のとおり実施しましたので報告いたします。

記

- 1 実施場所 「下保谷四丁目特別緑地保全地区内（旧高橋家屋敷林）」
- 2 目的 平成30年度に策定した下保谷四丁目特別緑地保全地区（高橋家屋敷林）の保全活用方針に基づき、活用をとおして新しい価値を見いだすためのイベントとして、広く市民に特別緑地保全地区の魅力を体験してもらうとともに、保全活用することを目的に実施する。
- 3 開催日時 令和3年12月3日（金） 午前10時～午後1時まで  
令和3年12月4日（土） 午前10時～午後1時まで
- 4 事業内容 ①特別緑地保全地区内見学（紅葉鑑賞）  
正面入口（南側）～前庭（母屋含む）～東側入口を見学コースとする。  
※イベント開催時間内に来場者に敷地内を自由に見学とした。  
来場者：12月3日：306人 12月4日：362人  
(秋の魅力の紹介のため、紅葉などの落ち葉のしおり作成コーナーを設けました。)
- ②野草園見学  
希望者に園内植物の説明を聞けるガイドツアーを行った。  
(定員： 一日2回、各回1グループ10名程度とし、2グループ)  
1回目 午前10時30分～ 2回目 午前11時30分～
- ③お屋敷見学  
お屋敷の内部を自由に見学いただき、屋敷林の魅力を紹介するパネルの展示や写真展の画像の上映を行った。
- ④竹細工・木工細工紹介コーナー・落ち葉遊びコーナー  
※日頃、屋敷林の保全のため活動しているボランティア団体の方々が、屋敷林の竹や木を使った木工細工を紹介するとともに、輪投げや竹ぼっくりなど実際に来場者に体験をしてもらった。
- ⑤掛け軸アンケート  
武蔵野大学の学生による「掛け軸アンケート」「写し絵体験」の実施。「掛け軸アンケート」では、葉っぱの形をした付箋に、「市民の声」を記入して

(資料2)

もらったり、「写し絵体験」では、屋敷林内の様々なものの写し絵を体験してもらった。